

つながり

Vol. 175
(発行/2023.5.1)

がんばる市民活動団体を
紹介します!!

日本大津絵文化協会（野洲会）

「大津絵」は江戸時代初期に東海道の宿場、大津周辺で発祥した絵画で、はじめは仏画を中心に描かれていました。江戸時代東海道最大の宿場である大津宿では大津絵は土産物として売られていました。軽くて持ち運びしやすい大津絵は、土産物として人気があったそうです。

大津絵は次のような手順で描かれます。

- ①お手本をカーボンで輪郭線のみ写す。
- ②薄い色（白）から順番に塗っていく。
- ③輪郭線等黒い部分を描く

1枚だいたい1時間半から2時間くらいで描くことができます。また、絵具も6色しかありません。これは土産物として売るため、安くて大量に仕上げる必要があったことに由来しているようです。



とても簡単に描けるように思える大津絵ですが、なかなか思ったようには描けません。絵具は含ませる水の量で色の濃淡が変わってきますし、何よりも最後に描く輪郭線がとても難しいのです。輪郭線は、一筆でさっと描いてしまわなければ生きた線にはならないそうですが、下書きが隠れるように一筆でさっと描くのはとても難しいのです。人の顔も難しくお手本を写しているはずなのに同じ顔にはならないと言います。その簡単に描けそうで描けないところも大津絵の魅力のひとつなのかもしれません。

油絵のように色々な色はないし、日本画のように難しくない。素朴で力強く、何ともいえない魅力のある大津絵。コロナ禍で自宅にひきこもりがちになった時、大津絵に出会い、その魅力にひきつけられた人達が集まって、このコミュニティセンターなかさとの活動は始まりました。画題は140種ある画題の中から時節に応じて選ばれます。毎回違って、今度はどんな画題を描けるのか、楽しみだそうです。

大津絵は海外の美術愛好家からも高い評価を受けています。江戸末期に日本を訪れたシーボルトは、大津絵が大変お気に入りだったそうですし、あのピカソも大津絵「猫と鼠」を所有していたそうですよ。

日本大津絵文化協会 野洲会は、

毎月第2・4木曜日 19:00~21:00 比留田自治会館

毎月第2・4月曜日 9:00~12:00 コミュニティセンターなかさと

にて活動しています。お問い合わせは、中島(090-2100-7423)までご連絡下さい。



野洲 まちづくりEXPO2023～想いをつなげ、そのまま前へ～

まちをより良くしようと活動する色々な市民活動団体と出会い、つながれるイベントを開催します。

一人で抱えてしまいがちな困りごとを相談できる機会にもなります。

午後からは、実際にまちづくりを考え実現するワークショップも開催します。(登録制)

色々な団体を知りたい方、話したい方、まちづくりに興味のある方など老若男女問わず、どなたでも、ぜひお気軽にご参加ください。

☆日時：2023年5月21日(日)

午前の部 10:00~12:30 【ブース展示お話し会×活動インタビュー】

午後の部 13:30~16:00 【まちづくり事業化ワークショップ】

☆場所：コミュニティセンターなかさと大ホール

☆参加対象：どなたでも(午後のワークショップは登録制となります。)

☆参加費用：無料

☆申込み：午前の部は参加申込不要

午後の部は登録制。申込多数の場合は抽選となります。

なお、申込みはQRコードもしくは野洲青年会議所HPからお願いします。



☆主催：一般社団法人野洲青年会議所

☆問い合わせ：一般社団法人野洲青年会議所 事務局 ☎077-589-33330

(祝日を除く月~金 9:00~17:00)

Information

市民協働室からのお知らせです。

野洲の市民活動登録団体の皆さん!

「市民活動団体」の再登録をお願いしております!

令和6年度からコミュニティセンター等の施設使用料の減免基準が見直されます。それに伴い、現在「市民活動団体」に登録している団体も再登録していただく必要があります。現在登録している団体には、順次関係書類をお送りする予定です。ご協力をお願いいたします。



なお、何かご不明な点等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

問い合わせは、

市民協働室 077-518-0556 まで。

☆☆☆☆☆☆☆☆

市民協働室は、4月4日より野洲図書館にて業務を行っております。以前のフリースペースのように机やいすをお使いいただけます。ぜひ気軽にお立ち寄りください。



[発行] 野洲市市民協働室(野洲図書館内)

〒520-2315 野洲市辻町410番地

TEL: 077-518-0556

FAX: 077-587-5976

E-mail: siminkyoudou@city.yasu.lg.jp